

# ふぁみいゆだより

第31号

社会福祉法人瑞穂会  
ふぁみいゆ行田  
行田市大字下須戸75番地  
TEL 048-559-4165  
ふぁみいゆ東館  
行田市大字下須戸65番地1  
TEL 048-559-5561  
令和3年5月発行  
発行責任者 藤井尚子  
<http://famille-gyoda.com/>

## お花見風景



## 新型コロナウイルスに負けない地域

ふぁみいゆ行田 施設長 藤井尚子



新型コロナウイルスの感染が長期化しています。今年に入って間もなく、市内の病院で感染拡大が発生しました。地域の基幹病院が受けた感染被害は、周囲への影響も大きく、当施設の利用者様の受け入れも一時は難しくなりました。一刻も早い機能回復を願い、市内で社会福祉法人を運営されている理事長さんと2月クラウドファンディングを立ち上げさせていただき、5月に病院に支援金をお届けすることができました。

初めてのことで当初は不安もありましたが、スタートして早々に「病院を応援したい」という地域の皆様からの支援金が次々と集まりました。同時に届けられたあたたかいメッセージは、病院で感染症と闘うスタッフの皆さんを励まし続けることが出来たと思います。今、病院は一時閉鎖されていた病棟も再開し、フル稼働に向けて前進されています。

クラウドファンディングを通して、病院にお世話になったという方、ご家族がお世話になったという方、医療従事者を応援したいという方等、多くの方から応援を頂きました。法人の壁を越えて多くの事業者の皆様や行田市役所の職員の皆様からも積極的にご支援をいただき、地域の皆様の想いが大きな輪となって応援することができました。ご支援いただいた皆様のあたたかいお気持ちに深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染の脅威は続いています。ワクチン接種が高齢者の皆様や地域の皆様へ一日も早く行き届き、コロナに負けない地域となるよう願ってやみません。

## 入社式・全体会



令和3年4月7日、入社式と職員全体会が行われました。入社式では4月に入职した職員7名へ辞令を渡し、小嶋理事長よりふあみいゆ職員としての心構えと励ましの言葉を頂きました。新職員は緊張した面持ちで式に臨んでいました。引き続き、ふあみいゆ行田・東館の職員50名の方々が参加して、全体会が開催されました。

全体会では小嶋理事長挨拶に続き、藤井施設長から、ふあみいゆの行動理念と行動指針のお話、新年度に新たに

就任する役職者の辞令交付がありました。新入職員の自己紹介と既存職員から自己紹介、参加できない職員からのビデオレターでの自己紹介があり、久しぶりに職員同士の交流が出来ました。 総務課 課長補佐 大澤初美



## 手作りおやつ



2月いちごとチョコのムース



3月抹茶のシフォンケーキ



4月桜のレアチーズケーキ

栄養課では毎月25日を「手作りおやつの日」として、手作りスイーツを提供しています。令和元年12月から開始以来、利用者様が毎月楽しみにされている一日です。昨年度からは「お菓



子作りが趣味」という若手の職員さんがメンバーに加わりメニューも益々充実しました。月ごとに様々なスイーツが楽しめます。当日は担当二人で朝6時から作り始め、ホールケーキは18ホール、カップケーキは180個という数になり、趣味のレベルを超えた力作ぞろいのスイーツを楽しんでいただきました。 栄養課 課長補佐 藤原富男

## ふあみいゆで活躍する外国籍のスタッフ

### グンデマロ・アントネット・ミゲルさん



フィリピンのラグナ出身です。日本に20年以上も暮らしているので、日本語も上手く、「日本食は何でも好きです」と、ミゲルさん。「利用者様に元気な笑顔になって欲しい」とユニットでの体操を欠かしたことはありません。彼女の明るく元気な声が弾けるユニットでは、「ミゲルさんを異動させないで!」と家族に伝えた利用者様もいます。サクスボードには「仕事ができることに感謝しています」と一言。いつまでも頑張ってください。



### ヴ・トゥイ・リンさん



ベトナムのハノイから来ました。好きな日本食は刺身、行ってみたいところは富士山です。マイブームは寮の庭で友達とトマトときゅうりとパクチーなどの野菜を育てることです。利用者様とも早々に打ち解け、優しい声かけにすっかり安心して孫娘のように話しかける利用者様もいらっしゃいます。仕事で楽しいときは「利用者様が笑顔になってくれたとき」、大変なときは「(認知症の利用者様が食事を認識できず)食事を食べてくれないとき」だそうです。今日もリンさんのいるユニットからは優しい声が聞こえてきます。



### サクスボード 今年の2月からサクスボードがふあみいゆ行田の廊下に設置されました。



サクスボードは「ありがとう」を文字で伝えるコミュニケーション活動です。ボードに備えつけられた付箋に日頃の感謝のメッセージを書いて貼り付けます。設置した当初はまばらだった付箋が、今では10日も経つとボード一杯に貼られるようになりました。一杯になると付箋を集めて感謝された相手に渡しています。

お互いを大切に「ありがとう」を伝える小さな活動ですが、私たちが仕事をす  
る上で必要な「気づき」を育む大切な活動となっております。 施設ケア課長 近藤慶一

## ふあみいゆ行田の暮らし

### 🌿 すずらん・ききょうユニット 中庭でお花見

4月、天気が良く温かかった日は、中庭に出てお花見。別のユニットの利用者様も来ており、お話しをされ、春の空気を感じることが出来ました。綺麗な桜を見て気分もリフレッシュしました。



介護主任 福地克弘

### 🌿 さくらユニット 自慢のベランダ



さくらユニットの自慢は、季節の花に彩られるベランダです。4月は、チューリップ、ビオラ、パンジー、ヒヤシンスが見事に咲き誇っています。

さくらユニットのベランダは花の香りにつつまれてゆっくりくつろげるとも癒されるベランダです。

さくらユニット 介護職員 井上翔子

### 🌿 ゆり・りんどうユニット 食べて歌って



ゆり・りんどうでのお楽しみのひとつは、昔音楽の先生だったS様の伴奏にあわせて皆さんで歌を歌うことです。美味しいものを食べて歌を歌って、楽しいひと時を過ごしています。

りんどうユニット 介護職員 星正義

### 🌿 まんさくユニット ザ・お鍋！

まんさくでは昼食の時間に調理レクを行っています。

利用者様にもお手伝いいただきながら、大きな土鍋を使って季節の具材を煮込みました。

一人ひとりに取り分けて、旨味たっぷりの鍋を味わいました。一杯目を完食され、おかわりをする方も。体も心もあたたまる鍋パーティーとなりました。



まんさくユニット 介護職員 内田優菜



### 🌿 こすもすユニット 簡単体操



こすもすユニットでは余暇の時間に、職員の声掛けに合わせて体を動かす体操を行っております。肩回しをしたり、背伸びをしたりと簡単な体操ではありますが、利用者様からは「いい気持ちだね」という声が聞かれます。

時には手拍子に合わせて歌をうたい、利用者様が幼少期のお話しをしてくださることもあり、職員にとっても利用者様にとっても大切な時間になっています。



こすもすユニット 介護職員 矢内美奈

### 🌿 栄養課の手作りぼたもち



3月20日はお彼岸の中日なので「ぼたもち」を手作りしました。「ぼたもち」は、あんこときなこの2種類で、朝から米を炊き1つ1つでいねいに成形し包みました。

ソフト粥やお粥を召し上がっていらっしゃる方には、「ふっくらおはぎ」という物を使い、舌でもつぶせる「ぼたもち」をお出ししました。中には、普段お粥を召し上がっていらっしゃる方が、ご飯のぼたもちを選び、ペロリと完食されていました。

利用者様には、おいしい、おいしいと召し上がっていただき好評でしたので、厨房の皆で頑張ってお作ったかいがあったと思いました。 栄養課 林優季菜



## 小さな喜びが東館を支える

ふぁみいゆ東館 館長 野口清美



東館は創立5年目の節目を迎えました。新型コロナウイルス感染症により行事やイベント、外出機会を自粛し、唯一の楽しみであったご家族様との面会や触れ合いも制限され、社会との結びつきが極端に少なくなりました。

そんな中、東館では3つの嬉しい出来事がありました。

一つめは、4月初め頃、中庭に一羽のキジバトが巣を作り、卵を温め始めたことです。利用者様、職員共にふ化を楽しみに見守ったところ、5月5日の子どもの日、とうとうヒナが孵りました。ヒナが巣から顔を出すのを見た時、皆の間に歓声が沸きました。今はヒナの成長を楽しみに見守っている日々です。

二つめは、埼玉県環境部からふぁみいゆ東館を「優良緑化計画認定施設」の候補として挙げていただいたことです。季節の花々や植栽で彩られているふぁみいゆ東館の庭を評価していただけたのだと思います。受賞出来ましたらご報告させていただきたいと思います。

三つめは、庭に雪見灯笼の寄付を頂いたことです。重厚感のある雪見灯笼にはウサギと龍が彫られています。夜間も楽しめるようにライトアップを計画中です。日々の暮らしの中にある小さな喜びが今、東館を支えています。

今後、新型コロナワクチン接種を終え、再び地域との結びつきを取り戻し、活気ある東館の暮らしを実現出来るよう力を入れていきたいと思います。



## ながちか体操

東館ではながちか体操が毎朝の日課となっています。

コロナ対策を行いながら、体力作りに励んでいます。

利用者様が安心して笑顔で過ごせるよう日々見守っています。

東館 介護職員 奥山富希子



## オゾン発生装置で安全・安心な暮らし

昨年12月、感染対策の一貫として8台のオゾン発生装置を設置しました。オゾンは酸素を原料にして作られ、除菌・消臭に効果があるとされています。

低濃度のオゾンでも新型コロナウイルスの感染力を低下させる効果があるとされており、感染しにくい環境を整えることができます。これからもできる限り感染の予防に努め、利用者様の暮らしと健康を守っていききたいと思います。

東館 医務主任 奥野しのぶ



## コロナ禍でのお看取り



「最期はご家族に見守られ」が東館看取りの柱です。今年の2月、緊急事態宣言が出され、本来なら面会を自粛いただく状況でしたが、残された時間が僅かとなった利用者様のご家族のお気持ちにできるだけ寄り添うため、徹底した感染対策を行い細心の注意を払って面会体制を整えました。

最期の時間には、個室にご家族も入っていただき、手を握り、足を摩り、「お母さん」と声をかけていただくことができました。コロナ禍の厳しい状況下でしたが、ご家族の想いに添い遂げることができて本当によかったと思いました。

ふぁみいゆ東館 生活相談室

## 入所相談・施設見学

ふぁみいゆ行田・東館では随時入所相談・見学を受け付けております。

現在は利用者様の居住スペースへのご案内はご遠慮いただいておりますが、写真を活用し館内の様子、施設の取り組み等をご紹介させていただきます。見学だけでも結構です。お電話にてお問い合わせください。



## ふあみいゆ小東風の暮らし

### サロンシアター



新型コロナウイルス感染予防対策として、密を防ぐ試みで、小東風フロアとサロンに分かれ日中を過ごしています。

サロン内を暗くし映画館のような雰囲気の中、テレビに「のぼうの城」や時代劇、喜劇のDVDを流し皆で鑑賞しました。懐かしさを感じながらトイレに立つことも忘れ、夢中でご覧になっていました。

コロナ禍でいろいろと活動が制限されていますが、笑顔で生活できるよう工夫しています。

小東風 ケアマネジャー 木村貴則

### 小東風の良さ

小東風では自宅と変わらない暮らしを大切にしています。

就寝時間も人それぞれ。夜遅く床に就く利用者と共にテレビを見たりお茶を飲んだり、ゲームをしたり、時には若いころの話で盛り上がります。

一日の終わりを笑顔で終えることで気持ちが落ち着き、良い眠りに結びついています。

小東風 介護職員 手塚達也



### ミキ薬局での作品展



ミキ薬局（行田市佐間）に利用者様と一緒に作った作品を展示しています。今年の干支（丑）と節分の鬼を作成しました。

節分の鬼にはコロナに負けるな！とみんなの思いをのせました。薬局を利用される地域の方にも楽しんで頂けるように新年会で使用した（福笑い）も展示しました。

小東風 介護主任 島崎かね子

### 共に助け合う暮らし

「利用者同士で支え合う暮らしの実現」が今年度の事業所目標です。

利用者様同士が小東風での生活の中で助け合い、それを職員がサポートするようにしています。

例えば、半纏を着るときに、隣の利用者様が手伝う。髪の毛を櫛でとく。車椅子を押すなど。

危ないからと制すのではなく、相手を思う気持ちを大切に寄り添うサポートを続けていきたいと思っています。

小東風 介護職員 前田朋子



## ふあみいゆ訪問介護

### 新サービス提供責任者



ふあみいゆ訪問介護 蛭間理恵  
令和3年4月よりサービス提供責任者に就任しました。

私は12年間介護現場で介護を経験してきました。現場での知識、経験を生かし4月より訪問介護という新たなステージに立たせて頂きました。まだまだ未熟ではありますが、訪問介護職員の仲間、たくさんの方々のお力をお借りし、利用者様から「ありがとう」と喜んでいただけるよう、また訪問介護職員の訪問が利用者様にとって心のよりどころになるように頑張っていきます。皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

### ふあみいゆ訪問介護



令和3年4月より新体制として訪問介護職員が変わりました。皆、明るくやる気いっぱい、元気いっぱいの職員です。優しさもピカイチです！

少し誰かの手が必要、訪問介護をお願いしてみようかな、と興味をお持ちの方、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターにぜひ相談してみてください。皆様のお手伝いができるようフレッシュな訪問介護職員一同が精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



# ふあみいゆデイサービスの暮らし

## 🍀 コロナ禍でも楽しめる行事提供



3月21日、春を告げる桜と共に緊急事態宣言も解除となり、ふあみいゆ行田にも春が訪れました。昨年度は新型コロナウイルスの感染予防対策に追われる1年でした。利用者様には利用中検温、手指消毒、マスク着用、換気等ご協力有難うございました。引き続きご協力頂ける様お願い致します。

昨年度は、密を避けるために外出行事や買い物ツアー等の行事は控えて施設の屋外の散歩や屋内のレクリエーションを中心に行いました。令和3年度もコロナ禍でも楽しめる行事やレクを提供していきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

生活相談員 柳川 武



## 🍀 フラワーアレンジメント



大好評のフラワーアレンジメントを行いました。春らしいお花で皆様大満足で笑顔も満開でした。

デイサービス 荒木留美子

## 🍀 継続は力なり



「誰のためでもない、自分のため」これはリハビリ中のH様の口癖です。

デイサービスでは、H様だけでなく利用される皆様、ご自分の望まれる生活が続けられるよう、またできるようになるよう、看護師の状態観察と理学療法士の指導の下、日々リハビリに励んで頂いております。

デイサービス看護師 原あや子

## 🍀 職員紹介



介護職員 三浦千紗都

デイサービスの職員になり、もうすぐ3年になります。介護の経験がなく、最初は分からないことも多かったのですが、毎日たくさんの利用者様に「ありがとう」と言って頂いたり、私の名前も覚えてくださったり、少しずつ自信もついてきました。

今はコロナの影響もあり以前の様なレクリエーションが出来ませんが、密を避け利用者様に楽しんで頂ける様な企画を考えて行きたいと思っております。

## ふあみいゆケアプランセンター



萩原香織さん

産休・育休が明け、4月から萩原香織ケアマネジャーが仕事に復帰し、居宅介護支援事業所の所属になりました。

2児のお母さんとなり、明るい笑顔に優しさが加わりました。所属ケアマネジャーは総勢8名となりました。

各々の基礎資格を活かし、力を合わせて利用者様ご家族様へのご支援に力を注いで参りたいと思っております。

ケアプランセンター 大塚しのぶ

## 地域包括支援センター



石鍋久美子さん

### 🍀 産休・育休からの復帰

出産のためお休みしていた社会福祉士の石鍋久美子さんが4月から仕事に復帰しました。包括としても経験のある職員が復帰してくれたことに心強さを感じます。今後も地域に住む皆様からのさまざまな相談や悩みをお聞きし、ご支援させていただきます。より一層安心できる地域、暮らしやすい地域づくりを目指していきたく思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

包括 伊藤久美子



## 🍀 ボランティア募集 ★ ご近所“お助け隊”を募集しています！ ★

ちょっとした支援があれば地域で暮らしていける高齢者の方がたくさんいらっしゃいます。例えば「ごみを捨てる」この一つだけでも助かります。「その位なら手伝ってあげても良い」と思われましたらぜひ下記へお電話ください。

私たちもいずれ必ず歳をとります。報酬はありませんが、お互いに助けあって暮らす住みよい地域をつくりませんか？ 包括においてお困りの高齢者とお助け隊の皆様を結んで暮らしやすい地域にしたいと思っております。お力をお貸しください。

ふあみいゆ東館 地域ケア課/包括 **048-559-5561**



# ふあみいゆ文芸

## 俳句



いこ孫の名前は大河とおもしろき

武藤八重子

春になり花見楽しむわが身かな

木村絹代

十重とえはたえ二十重花にうもれる丸墓の山

竹内邦夫

ひとときの買ひ物気分とくし丸

佐川八重美

背伸びしてひかりつかんでみずき咲く

けいこ

ふあみいゆの裏の田んぼは田植え待つ

小河原さき

玄関を入ったところに百合の花

藤間澄子

乱れ咲く薔薇一輪に手を伸ばす

井佐友勝

おとうさんずっと一緒にいつまでも

井佐春江

落柿舎ななせや七十路の旅冬うらら

杉田すみ

竹林の影のゆらぎや夏の川

柴崎泰治

土手下の風に染み入る雉の声

松井隆

コロナ禍や梅一輪の友メール

松井美枝子

花の雨今日を限りの句会かな

小嶋悦雄

新年の朝に産声光かがやく

荒木留美子

草原の孫追いかける笑い声

曾根佐枝



春彼岸悲しみ癒す花手水

篠崎則子

突然の地響き走る春の雷

平社伊津代

足元に頭並べるすぎなの子

斎藤輝子

ステイホーム家で楽しくリハビリだ

秋間翔太

チューリップ蕾ふくらみ春告げる

鈴木よ志江

郭公の姿匿かくう杜深もりし

藤井尚子



## 短歌



庭前の桜三本さきほこり

ちようちようとうとびてきれいだな

中里光子

見上ぐれば窓の一棹絵となして

花ほつほつと蠟梅咲けり

関口千代子

ふあみいゆの窓に見えるは桜木か  
春の来るのを待らわびている

豊田厚子

ヒヤシンスラップ水仙咲き競う

卒園記念に植えて幾年いくとせ

杉山嘉子

幻に不安が強く顔険し

甘酒一口気持ち安らぐ

野口清美

蒼天へ拳よりあげ一斉に

シユプレヒコール白木蓮は

小嶋敏子



# 地域交流館 サロン柿の木

## 🍃 活気が戻ってきたサロン



新型コロナウイルスの感染に歯止めがかかりませんが、ワクチン接種が進んでいますので、もう少しの辛抱ではないでしょうか？ そうした中ですが細心の注意を払いながら、少しずつ活動を再開しています。

4月下旬には協力員さんは「小東風(ここち)」の利用者様に付き添って、職員さんと一緒に鴻巣市寺谷のチューリップ園へお花見にお出かけしました。利用者様の明るい笑顔がみられました。また、4月から子どもランチ会を再開、おにぎり弁当を作りました。

久しぶりにお子さんの楽しそうな顔がサロンに戻りました。

梅っ子農園では梅の実が膨らみ収穫間近になりました。自然の力強い力に勇気づけられます。6月1日から、現地で梅狩りが始まります。

皆さまには今度お会いする日まで、ご健康に留意されてお元気にお過ごしください。お会いできる日を楽しみにお待ちしております。



## 🍃 サロン柿の木 活動の様子



モラ刺繍  
作品を完成させるのは楽しい！



毎週火曜日、協力員の皆さんは、午前中は利用者様と歌ったり、午後は小座布団やおしぼり等を作って施設にプレゼントをしています。ご都合のつく方、お手伝いくださいませか？



鴻巣市のチューリップ園へお花見！ 赤や黄色のチューリップが満開。利用者様もボランティアも心ウキウキ、楽しいひと時でした。



子どもランチ会  
久しぶりにお子さんの姿が戻って明るい雰囲気に包まれました！



梅っ子農園の梅が実りました。6月1日から15日(10:00~15:00)まで開園します。

## 募集中！！

サロン協力員さん・  
運営委員さんを募集！

### ★サロン協力員

いろいろな活動や行事などに一つでもご協力いただける方。

### ★運営委員(サロン協力員)

毎月サロン会議に出席し、運営、企画、推進(活動や行事)などに携わっていただける方。

どちらも多いほど歓迎！  
ご応募下さい！！

## 🍃 サロン運営委員の皆さん



上段左から  
大庭千恵子・町田ふみ子・  
増田直子・石久保房江・  
榎本和子さん

下段左から  
藤間多美子・蓮見牧子・  
杉田すみ・小嶋敏子・  
増田秀子さん

○内：松井美枝子さん

## 🍃 編集後記

コロナ禍にも関わらず、今年も春は巡ってきました。高齢者施設では入居者および従事者のワクチン接種が先行して進められています。今号は陽光桜の下、笑顔満開の利用者様とスタッフの写真を始めとし、新入職員や育休から復帰したスタッフを迎えた等、明るいニュース満載の31号となりました。お手に取ってご覧いただけたら幸いです。



地域活動委員会 委員長 井上翔子